

# 市民協働推進補助金交付事業 2023年度活動報告



NPO法人 くれば

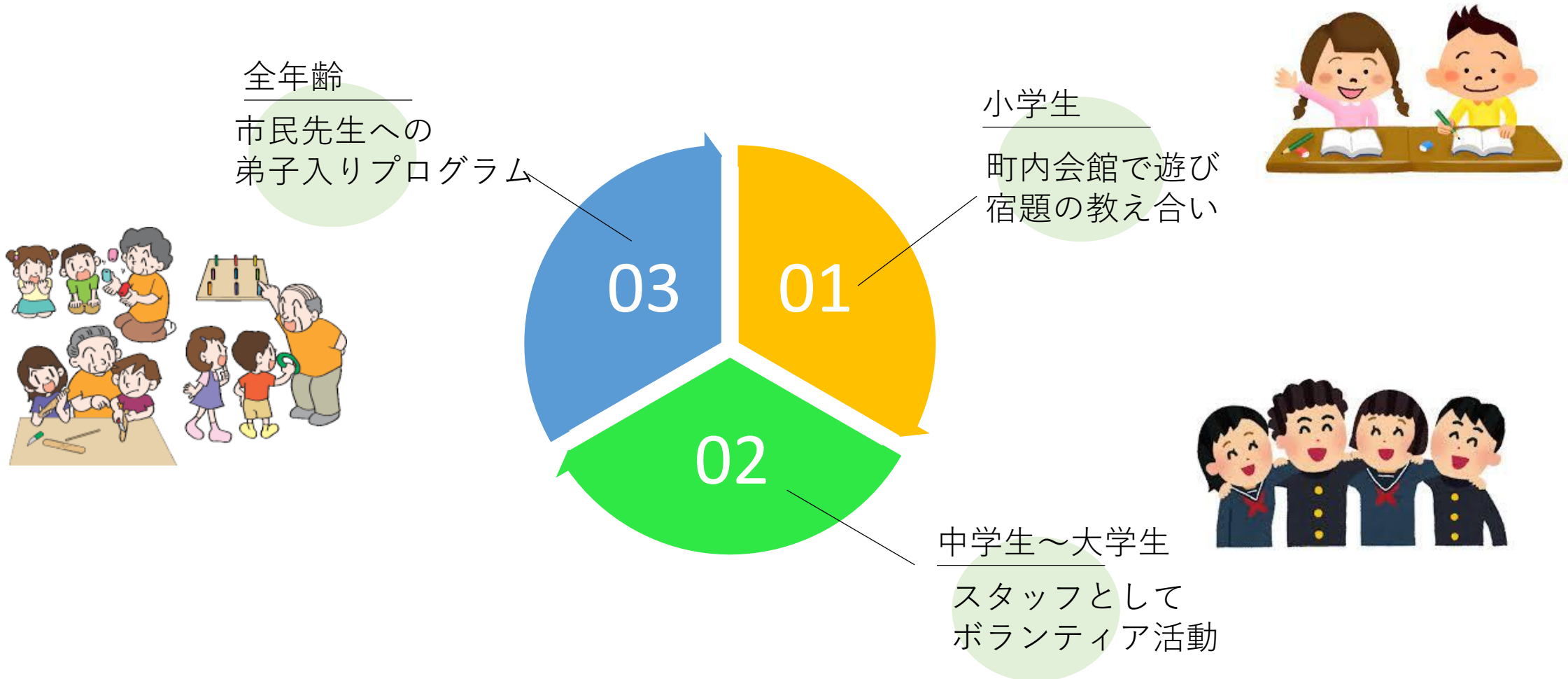
# 目次

---

1. 事業の内容
2. 事業1 小学生の居場所づくり
3. 事業2 市民先生への弟子入りプログラム
4. 目的の達成度
5. 2024年度の課題

# 事業の内容

こどもの居場所をつくり、そこを地域の人々のやさしさが集まる場所とする



# 事業1



## 小学生の居場所づくり

# 小学生の居場所づくり

---

## <概要>

地域の町内会館を利用し、週1回、こどもたちが主体的に遊べる場所を用意する。

学生や地域の方に、スタッフや遊び相手として集まってもらう。

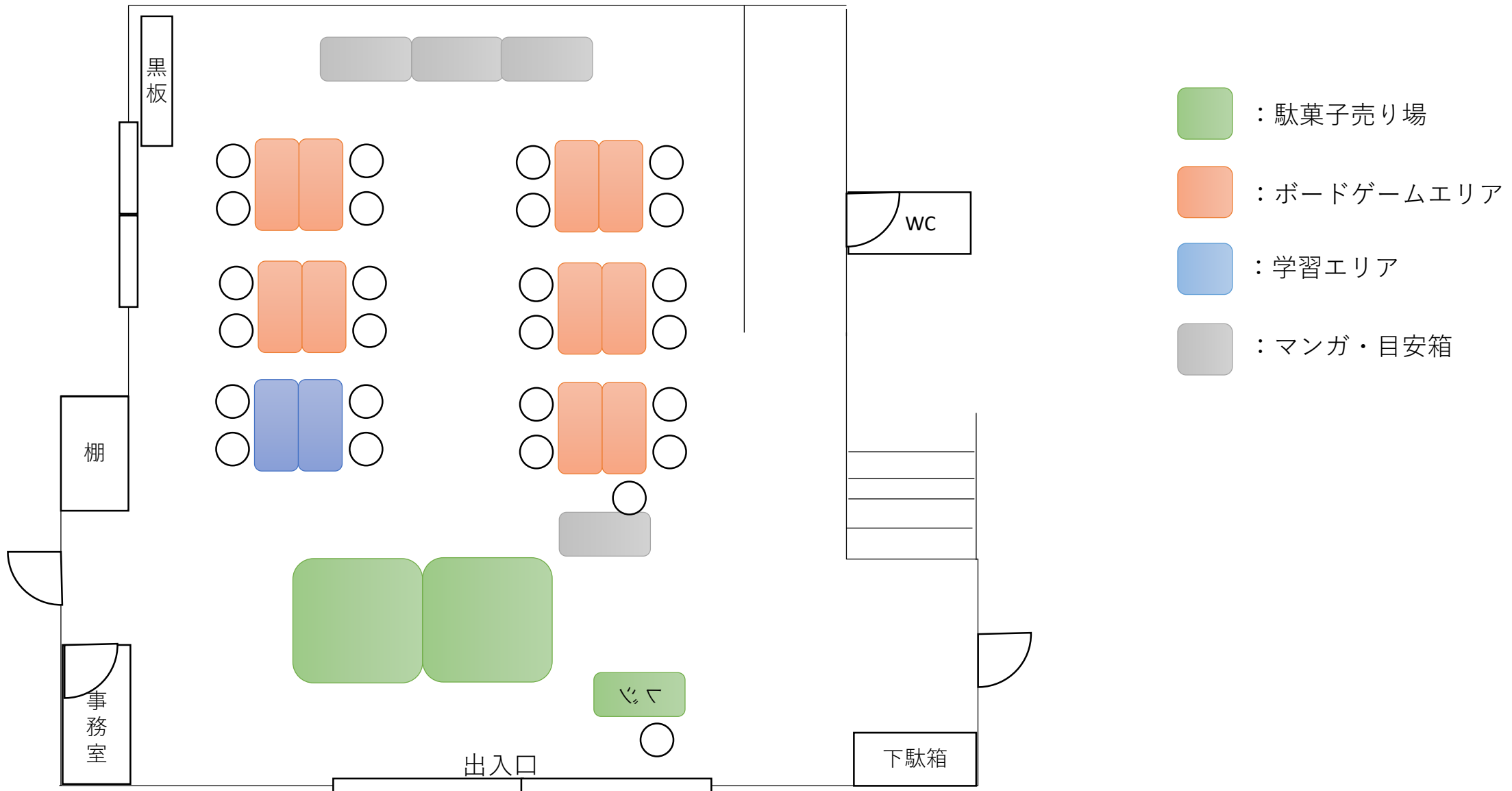
## <目的・効果>

地域に繋がりと活気が増し、安心して暮らせる街になる。

家族や先生以外に悩みを相談できる大人が増える。

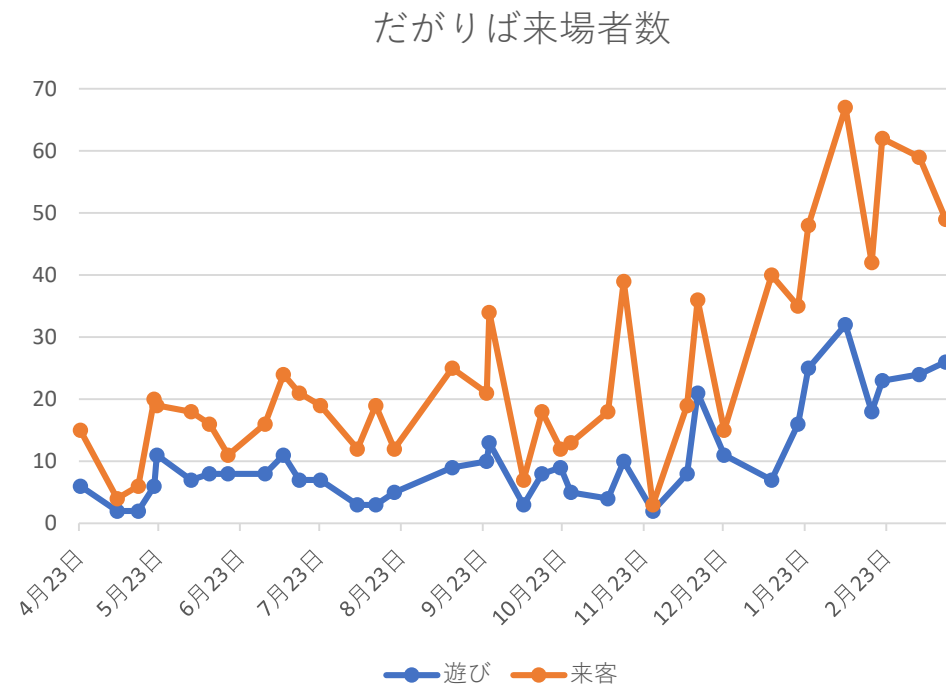
宿題の教え合いを通して学力が向上する

# 小学生の居場所づくり



# 小学生の居場所づくり 2023年度実績

## ・ 2023年度来店者数・遊び場利用者数



# 小学生の居場所づくり 2023年度の工夫

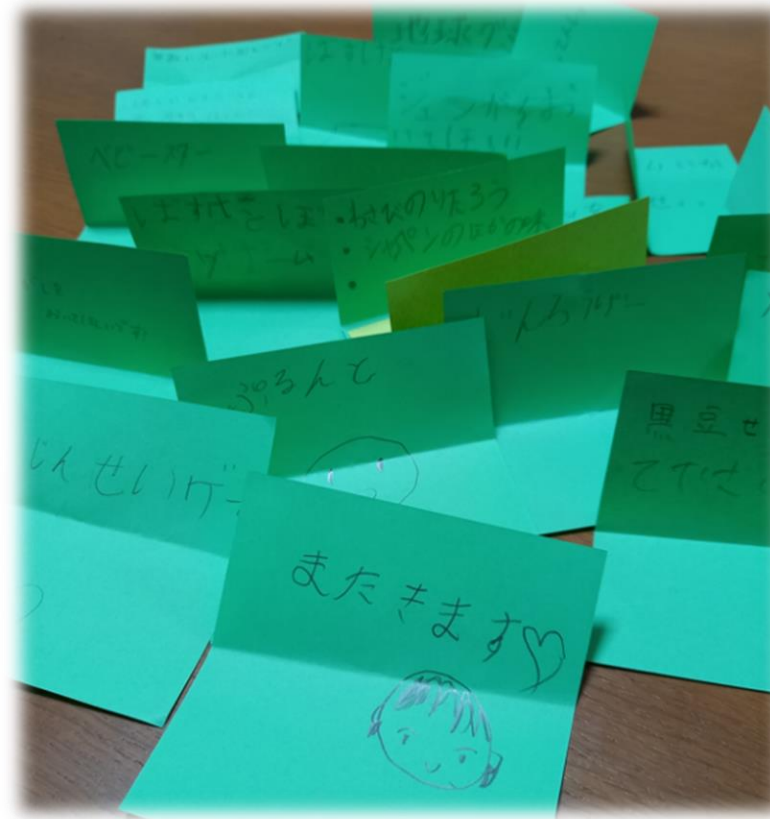
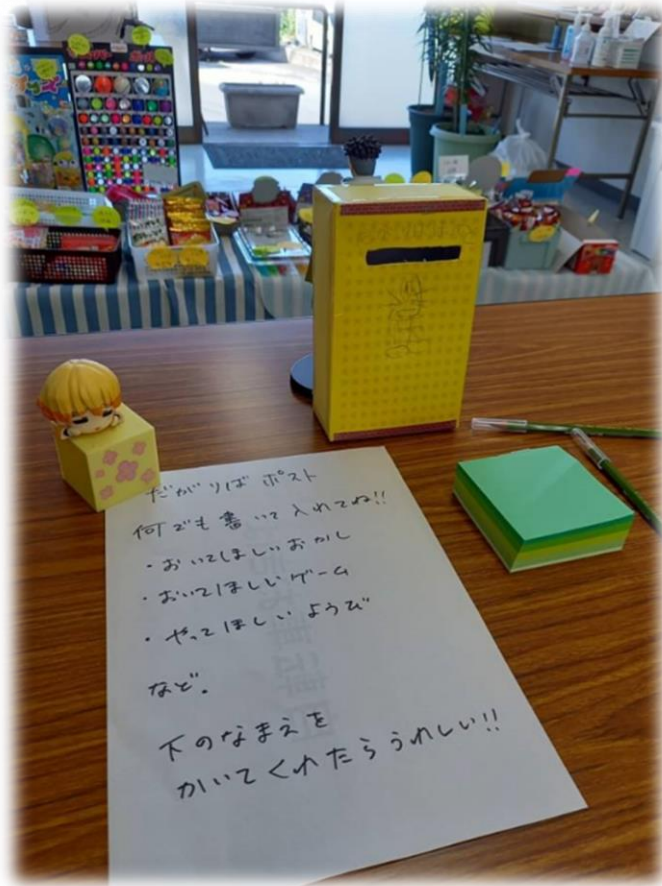
- ガチャ、勉強プリント





# 小学生の居場所づくり 2023年度の工夫

## • だがりばポスト(目安箱)



## 事業2

市民先生への弟子入りプログラム

# 市民先生への弟子入りプログラム

---

## <概要>

市民から講師を募り、小学生向けの体験講座を開く。

## <目的・効果>

体験を通して様々なことに興味をもつきっかけをつくり、学業やスポーツだけにこだわらず、自分自身のゴールを見つける手助けをする

シニアの方や、新しいことを始めたい市民に、市民先生としての機会を提供する

# 市民先生プログラム 2023年度実績



## 目的の達成度・活動の効果①

---

会場に目安箱を設置したところ、こどもたちから遊び道具や駄菓子のリクエスト、かけてほしい音楽、開催してほしい曜日など、たくさんの意見をもらうことができている。

→子供たち目線での居場所づくりが進められている

## 目的の達成度・活動の効果②

---

習い事などが無い場合は開催する度に来てくれるこどもが多く、また学年を超えてこども同士でボードゲームなどで遊んだり、勉強プリントをやった後は駄菓子を食べながらマンガを読んだりと、それぞれ自由に過ごしている。

→こどもたちの居場所になっていることを実感している



## 目的の達成度・活動の効果③

---

レジが忙しい時に上級生のこどもが積極的に手伝ってくれたり、下級生の面倒をみてくれたりしている。

→大人にとっては、こどもたちの優しさや頼もしさを感じられる場になっている

# 2024年度の課題

---

## 活動への協力者・スタッフを増やす

1. 町内からの活動に対する理解を得る  
→広報などで取り上げていただける機会があれば是非お願いします。
2. 若者(中学生～大学生)が参加したくなるような仕組みづくり  
→有償ボランティアとして謝金を出し、このような場所があることの認知を若者世代にも広げる
3. スポンサーを見つける、お金が回る仕組みをつくる  
→寄付に頼らない方法も含め検討中



## 最後に

---

「この事業をやってよかったと実感できたこと」

町でこどもたちと会ったときに、名前を呼んで挨拶や声掛けができるようになりました。今後多くの地域の方に参加していただければ、町全体でこのようなつながりが増え、住みやすい町づくりにつながると思います。





活動報告は以上になります。  
ご清聴ありがとうございました。